



「新春のつどい」を開催して

いーぱるサークル連合会

会長 青柳 忠夫

新春あけましておめでとうございます。

令和3～4年の当会の会長を担当する青柳です。

どうぞよろしくお願いたします。

令和3年の総会前、役員会で指名があり、喜んでお引き受けしました。私は2年前、事業譲渡するまで40年にわたり、広面で眼鏡店を営んでまいりました。当地での皆さんのご愛顧に心より感謝しております。私に何か恩返しができることがあればお手伝いしよう、思っていた矢先のことでした。

ボランティア活動と言えば、今は亡き船山定雄氏を思い起こします。旧東部公民館時代から「いーぱる」の今日まで、「広面地区市民憲章囲碁将棋大会」を毎年11月3日文化の日に開催してまいりました。この大会の準備を船山さんが一手に引き受け、令和元年第28回まで続けてきたのです。50人も参加するビッグイベントなのに、彼は完璧な企画運営を下さるので私は感服。面白いのは本人は碁も将棋もできない人。

船山さんが言うには、私と家内は山形県人で、広面に住んで皆さんからとてもよくしてもらったので、少しでもお返しができるとうれしい、と言うのです。私は参加者集めしか手伝えず、彼には頭が下がりました。

さて、このたびの「新春のつどい」ですが、開催にあたっては賛否両論でした。11月の初めまでコロナ禍の様子を伺っていたのですが、少し下火になってきたようなので役員会で検討の上、開催を決めまし

た。開催日まで時間が無く焦りましたが、役員の皆さんが協力してくれて、7日の本番を迎えることができたのです。

一昨年と違い(去年は中止)、飲食ができないので、せめて弁当を楽しんでもらおうと、いま話題のパリの駅でも販売しているという、大館花膳「鶏めし弁当・上」を取り寄せたのは好評でした。

当日は受付で手の消毒はもちろん、検温をしてもらい、演技発表中も30分に一度会場のドアを開け換気をしてコロナ対策に努めました。

各サークルの発表は、「コール山鳩」「東部民謡教室」「祥舞会」「合掌団だんだん」「東部合唱サークルばあふる」「フラ・ハイビスカス」「イースト・フレンズ」の皆さんです。それぞれとても真剣で、観客席からは大きな拍手でした。午前の部は懐かしのエレキギターの演奏で終了です。

昼食をはさみ、午後は少し観客席が寂しくなりましたが一般会員のカラオケで盛り上がり(私も一曲歌いました)続いてカラオケサークルの皆さんの美声でお開き。皆さんの協力で、無事トラブルもなく終了しました。

反省点と言えば、サークルの代表に焦りの電話をたくさん入れたこと。しかしこれには暖かく答えてくれて、本当に助かりました。来年こそはマスクも取れて顔の見える「集い」になりますように。

感謝



人が花となり、蝶となる ‘いーぱる’

オープン7年を語る座談会

- 佐藤 勲** 司会者
東部地域づくり協議会 広報部長
- 奈良 通也** 東部地域づくり協議会 会長
- 榎本志千良** いーぱるサークル連合会 元会長
- 蛭田 聡** 東部地域づくり協議会 企画部長
- 加藤長二郎** 東通町内会連合会 会長
-



司会・佐藤；みなさんこんにちは、今日は {いーぱるオープン7年} を大いに語っていただき、コロナ禍をふきとばして頂きたい

と思います。

はじめに、東部地域づくり協議会の奈良会長さんから、いーぱるオープンまでを振り返って頂きましょう。



奈良会長；東部地域の長年の願望をになって、平成27年8月に地域の多様な活動拠点としてオープンしました。

オープンまでの一番印象にあるのは場所の選定で苦労したことでした。

3か所の候補地があって、現在地に決まるまでいろいろありました。

「いーぱる」という名称は466点の応募の中から、東部地域の「東」のEASTの「いー」と仲間を意味するPAL(ぱる)を合わせたものでした。

“東部地域の仲間がたくさん集まる楽しくにぎやかな場所になってほしいという願い”が込められております。

また、ロゴマークは18点の応募から選ばれた

もので、いーぱるのEと人をひきつける花とその花に集まる蝶をモチーフにしたものでした。

司会；場所をはじめから現在地かと思っておりましたが、なるほどそうでしたか。

それでは、つづいて、東部公民館時代からサークル会長などで幅広く活躍し、時に裏方としてご苦労されてこられた榎本さんからサークル活動からみた「いーぱる」の‘存在感’などについてお話し下さい。



榎本；広面地区に限った話になりますが、いーぱるオープンが平成27年8月でしたが広面地区ではそれをひとつのきっかけに平成28

年2月に第一回広面地区親睦麻雀大会を開催しました。令和3年11月には11回目を数えるまでになりました。また、平成30年6月から毎月第一土曜日に初心者向けに「健康麻雀教室」を開講しております。私も常任講師(通称教授です)の一人となっております。

ふりかえってみますとこのような試みが、地域の新しい交流の場を広げ、人脈作りに大変役立ってきていると感じております。

司会；なるほど、ポンとかチーとか聞こえてくるようですね。

次に、いーぱる運営にあたって大変発信力のある企画によるイベントを実施されてこられた企画部長の蛭田さんからお願いします。



蛭田企画部長；企画部会では「地域の歴史、文化、人材などの資源を活かし、魅力ある地域づくりや地域間、世代間の交流をはかる自主

事業を企画・実施する」こととしております。
具体的にこれまでの文化講演会をあらためて
ご紹介します。

第1回 (H28. 2. 7) 演題 地域の文化を探
る「城下町久保田と東部近郊農村」

講師 秋田大学教育文化学部
教授 渡辺英夫氏

第2回 (H29. 2. 5) 演題「スポーツを通し
地域の活性化」

講師 元サッカー日本代表監督 岡田武史氏
第3回 (H30. 3. 3)

演題「どうなる！日本の政治」

講師 読売新聞特別編集委員 橋本五郎氏
第4回 (H31. 3. 9)

演題「なまはげは鬼か～聖なる恐怖の意味～」

講師 民俗学者 齊藤壽胤氏

第5回目はコロナ禍で中止しました。

司会；なるほど、なるほど、よくもまあこんな
に高名な講師の先生がたをどうやって招聘
したかということも興味深いところです。

つづいて、いーぱるだよりNo.6 (令和3年)
で「日本一の明田富士とその周辺」をまとめて
頂いた東通連合町内会の加藤会長さんから「取
材こぼれ話」などご披露いただきましょう。



加藤会長；平成元年に
日本山岳会は明田富士山
(みょうでんふじやま)を
日本で一番低い富士山と
して認定し、山頂に標柱を

建ててくれました。

35Mの高さは知っていましたが日本一低
い富士山とは知りませんでした。

みなさんにもこのことを知ってもらえれば
嬉しいです。

大潟村には標高35M以下の富士山があるそ
うですが、これは干拓の折に人工的に造られた
ものです。

「いーぱるだよりNo.6」にも書きましたが、
子供の頃の冬はスキー、夏の虫取り、下の太平
川での魚獲りなど思い出されます。

司会；加藤会長さんの昔の思い出が少しも
色褪せない明田富士山がますます地域のみな
さんの憩いの場となり、歴史的景観の一つとし
て親しまれていくことでしょう。

司会；いやあさすが7年の歩みは素晴らし
かったと思いました。紙面のスペースが限られ
ておりますので、最後にみなさんから一言ずつ
お願いします。

奈良；東部地域の特性を活かした一層の交
流促進を期待しております。

榎本；公民館時代からみれば明るく広々と
した交流の場になったと思います。

蛭田；(講演会等のアンケートからみて)こ
れからの各事業のテーマ設定、ターゲットの絞
り込みが難しくなってきたことを実感して
おります。

加藤；昔の写真を募集して紹介する。まちづ
くり部会とタイアップした事業推進など期待
しております。

蛭田；年間行事の予告など掲載したらどう
でしょう。

司会；ありがとうございます。‘人が集い
花となり、蝶となって憩い、楽しめる「いーぱ
る」に期待しましょう。

(令和3年12月9日 於いーぱる)



新春のつどい 文化サークル発表会



東部民謡教室



祥舞会



フラ・ハイビスカス



コール山鳩



合唱団 だんだん



東部合唱サークル ぱあぷる



イースト・フレンズ



秋田市東部市民サービスセンター いーぱる

[施設利用の申込み]

TEL.853-1683 FAX.834-1863

[取扱業務の問い合わせ]

TEL.853-1039 FAX.834-1829



[URL] <http://www.city.akita.akita.jp/sc/es/>

[所在地] 〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町13番地3